



「こんなに大きいほおずき見たことがない！」

多くの方から驚きの声を頂いた「六本木朝日神社 ほおずき市」。今年も7月6日(金)・7日(土)の2日間にて開催いたします!

「ほおずき(鬼灯)」は古来より、提灯にみたてお盆に飾る習慣のある植物ですが、現代では習慣自体は忘れられつつあります。「ほおずき」の収穫時期は通常8月15日の旧盆に合わせて生産されており、特に都心では7月盆のため、その時期に赤く実った「ほおずき」を飾る習慣が定着しないという理由もあることでしょう。

そのため、「朝日神社ほおずき市」では、昨年、九州初の「森林セラピー®基地」に認定された宮崎県日之影町が主催となり、名産品である「ほおずき」の生産者様のご協力を得て、7月に赤く実る「ほおずき」を東京の皆様にご覧いただける様、準備してまいりました。

東京六本木という街で、都会と田舎の交流をテーマに、「ほおずき」を通して、古来のお盆の習慣と、日之影町の自然や山村文化に対して親しみを持っていただきたく、是非多くの方にお越しいただければ幸いです。



スズニアン国立自然博物館や大英博物館にも収蔵されている「名工 廣島一夫氏」で名高い日之影町の竹細工も展示(一部販売)



宮崎県日之影町特産品即売会も開催

## 「森林セラピー®基地」認定!

自然の恵みが人を呼ぶ里～宮崎県日之影町

宮崎県の北部に位置する日之影町は、227.68平方キロメートルと広大な面積を有し、約92%を森林で占める豊かな自然環境と豊富な山村文化をもつ地域です。北側の一部は祖母傾国定公園区域に指定され、主峰の傾山、矢筈岳、丹助岳、五葉岳などの森林景観は癒し機能とともに五ヶ瀬川には、日之影川、綱の瀬川などの清流が注がれ深いV字谷を形成しており、春の新緑をはじめ、夏の清流や秋の紅葉、冬の静溪などは、四季折々の森林景観を楽しませてくれます。

こうした中、平成18年4月、「森林セラピー®基地」の認定を受けました。森林セラピーとは、整備された森林環境の中で、自然が彩なす風景や香り、音色や肌触りなど、森のいのちや力を感じることによって、私たちの心身に元気を取り戻させようとするもので、森林のもつ「癒し効果」を科学的に解明し、健康増進やリハビリテーションへの活用とともに、そのメニューを確立することをいいます。

平成17年に行った整理実験等では、唾液の中のコルチゾールという「ストレスホルモン」が都市部に比べ、森林では濃度が低くなるということが分かりました。

また、心拍の「ゆらぎ」の測定で、ストレスの高い時に高まる「交感神経」が抑制され、リラックスした時に高まる「副交感神経」が昂進するということや脳の活動も森林では鎮静化され、リラックスしていることなどが立証されました。

